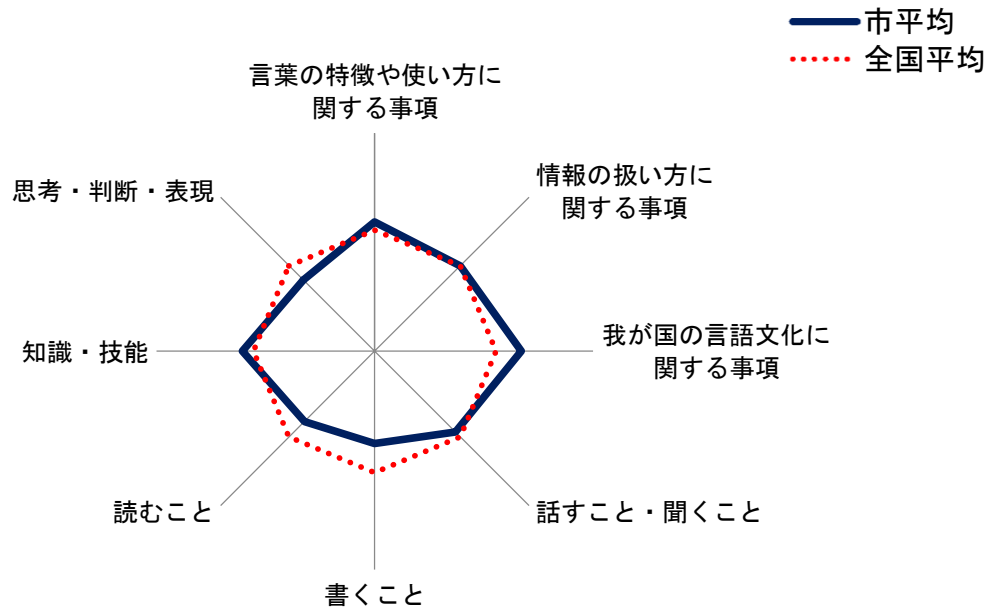
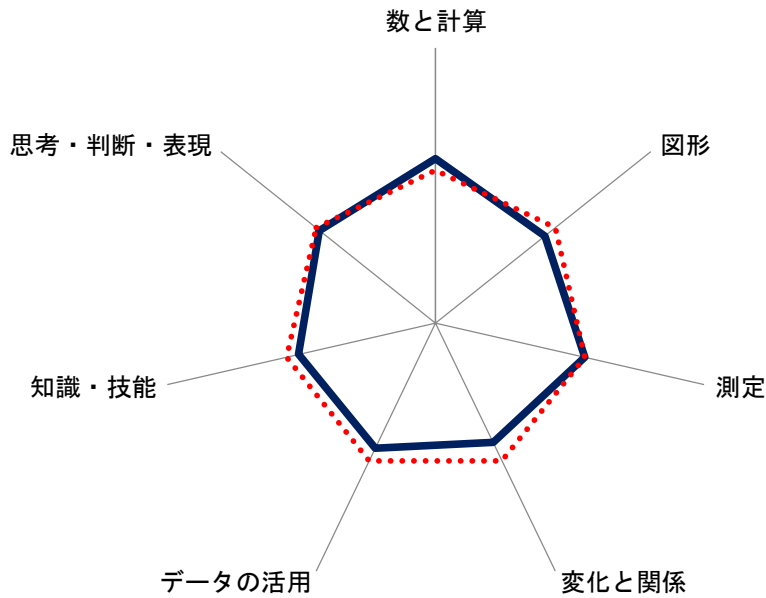


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【国語】

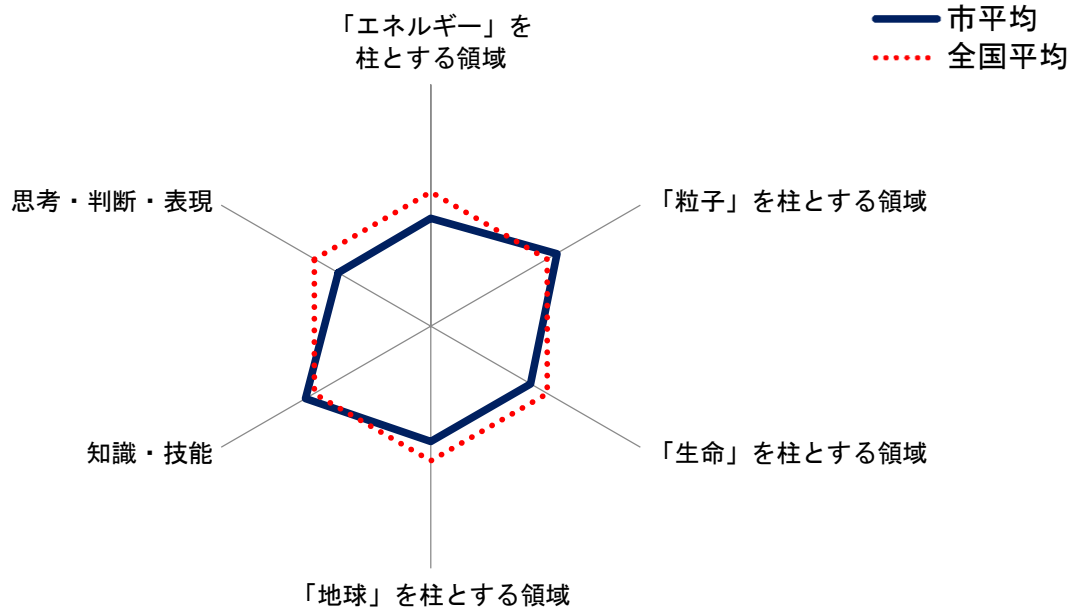


【算数】

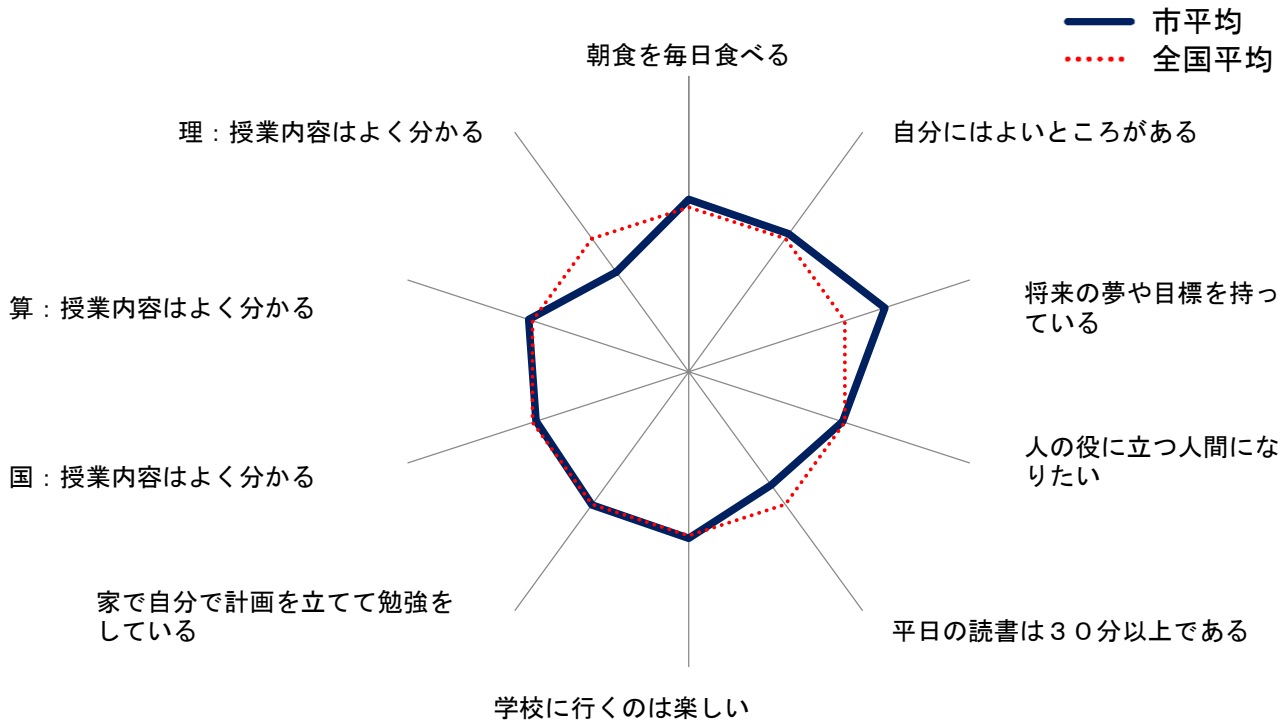


○ 教科に関する調査 (全国の平均正答率との差)

【理科】



○ 児童質問紙調査 (全国の平均回答率との差: 肯定的な回答)



○ 結果の分析と改善策

教科に関する調査では、国語、理科は、「知識・技能」は全国平均を上回っているものの、「思考・判断・表現」は下回っており、算数は、「知識・技能」「思考・判断・表現」とともに、全国平均を下回っている。今後、学力の定着と向上に向け、児童一人一人の課題をしっかりと分析することにより、各教科における知識及び技能の定着とその活用を一体的に捉えた学力の育成を図る取組の推進が引き続き望まれる。

児童質問紙調査では、「将来の夢や目標を持っている」の項目が全国平均を上回っており、キャリア教育が継続して行われている成果が見られる。一方、前回調査で改善傾向が見られた「平日の読書は30分以上である」の項目が、全国平均を下回っており、学力向上の基盤となる読書習慣の確立に向け、読書活動のより一層の充実に向けた取組を推進することが望まれる。